



編集 SEF 事務局  
 連絡先 03-3669-0499  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば 「おもてなし」** **専務理事 黒山昭宣**

昨年オリンピック開催国を決定する IOC 総会席上でのプレゼンで評判になった「おもてなし」が流行語大賞の一つに選ばれました。時を同じくしてユネスコ無形文化遺産の一つに「和食」が登録されました。「和食」の真髄は旨さ、見た目、季節感に加えてその底に一貫した「おもてなし」の心にあるとも言われます。日本人の生活の中では「お接待」等表に出る「おもてなし」だけでは無く日常生活の隅々に「気配り」「思いやり」「もったいない」等数多の言葉で表現される伝統的な文化が根付いています。

嘗てエコノミック・アニマルとして揶揄された時期もありましたが、経済的にも成熟した日本において、私達が日本の伝統文化の良さを再認識して物産大国から精神的な豊かさも加味した生活文化大国として世界に発信出来ればと念じています。

**1 月度 (第 128 回) 理事会より (1 月 22 日)**

<p><b>&lt;1 月度理事会 (第 128 回)&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事検討会開催の件→審議・承認</li> <li>2. 粉体大粒化講義の費用支払いの件→審議・承認</li> <li>3. SEF カタログ見直し中間報告→報告・了承</li> <li>4. 産業業務支援収入報告(H25 年 12 月末)→報告・了承</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. 平成 25 年度第 3 四半期事務局経費推移報告→報告了承</li> <li>6. 源泉徴収法定調書合計表提出報告の件→報告・了承</li> <li>7. 備品リスト作成の件→報告・了承</li> <li>8. 平成 25 年 12 月度会計報告→報告・了承</li> </ol>
--	--

**事業報告 「環境業務支援事業成行」報告** **担当理事 佐立弘臣**

今期、本事業の目標は達成することができそうです。それは前期に「エアークリーンシステムの販売」の業務支援契約を結び、販売支援を続けてまいりましたが省エネの効果が認められ、今期、鉄板の水切りとして鉄鋼会社に 2 セット(計 3 セット)の販売支援ができたこと。昨年 8 月に YS 社と業務支援の契約を締結し、同社が進める焼却設備の建設、海外からの鉄鋼製品の輸出入などの業務支援を行った結果です。このような結果が出たのは、今期からスタートした「事業開拓チーム」の活動成果です。チームは業経験豊富な会員と担当理事で組織され、環境事業だけでなく産業、教育・研修の 3 事業部門に関係する幅広い分野における新規事業の開拓を目指しております。

今後もこの活動を進めてまいります。課題は支援先からの要望に応える担当する方がいない時があることです。会員の皆様には、担当理事から支援先からの案件担当の要請がきましたら、自分自身だけでなく、友人にも声をかけて頂き、多くの支援先の要望に応えることができたらと思っております。ご協力をよろしくお願い致します。

**SEF サロン 第 80 回 報告 / 第 81 回 案内** **担当理事 白崎善宏**

《 第 80 回報告 》 講師：渡辺延志氏 朝日新聞社  
**演題：「人は歴史に何を求めるのか」(1 月 22 日実施)**  
 前半は日本人のルーツはどこであるか、邪馬台国等の古代史、さらに近代史にいたるまで、いくつかの出来事を歴史上日本でどうとらえられ、歴史に何を求めてきたかお話でした。後半は現在取り組んでおられる「三国同盟」について東京裁判の検察側資料の解説を通じて、三国同盟の成立自体の過程に一主として日独間で一曖昧な点が多くあり、かつ、こうした重要な事実が長い間日本では討議されて来なかったのはなぜであろうかと指摘がありました。熱のこもったご講演であり、ご講演後も会場の皆様からも熱中した質問・議論が続きました。

《 第 81 回案内 》 日時：2014 年 3 月 26 日 (水) 18 時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」  
 講師：篠崎 務氏 元トッパン・マネジメント常務(元凸版印刷)・アメリカ野球愛好会・会員  
**演題：「野球で覚える身近な英語」**

**1 月度会員動向**

<p>会員入退会</p> <p>正会員入退会 変動無し</p> <p>準会員入退会 変動無し</p>	<p>1 月末現在の会員数</p> <p>正会員-28 名 準会員-32 名</p> <p>賛助会員-2 社</p>
--	--